

自治体名	長野県 岡谷市
------	---------

女性の健康づくり対策の概要

ライフステージ別に、各年代の健康課題を中心とした内容で事業を実施している。

1歳未満の子どもを持つ母親を対象に、生活習慣病予防のための健康管理と、育児支援の両面を目的とした「いきママのヘルシー講座」や、市内4中学校3年生全員を対象に、性教育を中心に自分自身の健康を守ることの大切さを伝える「思春期健康教育事業」が特徴的である。

その他、新生児・乳児の全数を訪問し、産後うつや早期発見や産後の母親の健康管理を行う「きらきら赤ちゃん訪問事業」や、地区での保健委員会活動の中で、女性特有のがんについての講演会や、乳がんモデルを用いた自己検査法の周知・検診受診勧奨を行っている。

自治体の特徴

長野県のほぼ中央に位置し、総面積 85.19K^mで諏訪湖の西側に面し、遠くは富士山、八ヶ岳連峰を望む、湖と四季を彩る山々に囲まれた風光明媚な都市である。養蚕地域の農村から、明治初年、外国貿易開始に伴って機械製糸を取り入れて以後、製糸業都市として急速に発達した。戦後は、精密工業都市へと急速に転換した。

人口構成 (H21.10.1 現在)

	総数	男	女
人	53,077	25,811	27,266
割合(%)	100	48.6	51.4

15歳未満	7,329	3,792	3,537
15～64歳	30,971	15,717	15,254
65歳以上	7,447	3,508	3,939
75歳以上	5,324	2,185	3,139
85歳以上	2,006	609	1,397

女性に関する健康課題

平成21年度に実施した「健康増進に関するアンケート調査」の結果では、20代・30代女性の20%近くがBMI=18.5以下の「やせ」であった。また、健康診断の受診状況では、20代・30代女性の約60%が未受診であった。これは、年齢的に対象となる健康診断が少ないためと思われる。

岡谷市では、子宮がん検診は20歳から、乳がん検診は30歳から対象となるため、該当になる検診から受診してもらい、若い時期から定期受診が定着していくよう働きかけていきたい。

事業費 (千円)

- | | |
|-------------------------|-------|
| (1) 女性の健康づくりに関する事業 (総額) | 1,800 |
| (2) 報告事業 (再掲) | |

事業名	思春期健康教育事業
分野	<input checked="" type="checkbox"/> 健康教育 <input type="checkbox"/> 健康手帳の交付 <input type="checkbox"/> 健康相談 <input checked="" type="checkbox"/> 知識の普及 <input type="checkbox"/> 啓発普及
事業費（千円）	435（千円）

事業目的

- ・ 性感染症の増加、望まない妊娠の増加、若年妊娠の問題等は全国的にも課題となっており、特に性感染症は低年齢化していることも課題となっている。性情報が簡単に手に入る情報社会で正しい知識の普及を行い、性感染症・望まない妊娠を防ぐ。
- ・ 自分の命が誕生した奇跡について知り、自分の命、未来に授かる命の大切さについて学ぶ。
- ・ 思春期は身体的・精神的に急成長する時期であり、自分の身体について理解すること、また自分の身体、相手の身体を大切にすることについての理解と方法について学ぶ。

事業対象

市内4中学校の3年生

事業実施体制・展開

- ・ 産婦人科での実践経験のある助産師を講師とし、学校との共同で行う。（担任、養護教諭と共同）
- ・ 実施時期については、各学校と健康推進課にて調整していく。

市内4中学校の3年生全クラスを対象とし、1講座100分（50分2コマ）の授業を展開する。

<導入>

- ・ 身体のしくみ・生命の旅・・・30分
命の誕生までを理解し、自分の命はミラクルな命であることを知る。

<展開>

- ・ 性感染症・望まない妊娠を避けるために・・・55分
同年代の女の子が登場するビデオを視聴し、自分や、自分の友達の立場に置き換え、どのような危険があるのか、どうすれば危険を避けることができたのかを考える。
性感染症の種類・症状について、コンドームの正しい使用方法、避妊・人工妊娠中絶について

<まとめ>

- ・ 自分たちは望まれた命であることを感じる・・・5分
- ・ 学んだこと、感じたことをアンケートにまとめる・・・10分

事業目標・評価項目 及び その結果

- 事業目標
- 1、自分の命は望まれた命であることを知り、自分や相手を大切にすることを生=性について考える
 - 2、中学生の身近にある性情報を題材に、性について自ら考える力をつける
 - 3、エイズ・性感染症などの正しい知識の普及と予防法について理解する

結果 中学生のアンケートより

- ・ 自分や周りの人の命を大切に考えられる人間になりたいなと思いました。
- ・ 軽い気持ちでいないように心がけていきたい。自分だけではなく、相手のことも考えるべきだということを教えてもらって良かった。

事業の工夫点

・命の現場に立ち会っている助産師から、自分の命、未来に授かる命の大切さを学ぶことで、性感染症の予防や、望まない妊娠を防ぐことについて、中学生の心に届きやすいよう、助産師ならではの切り口で授業を行っている。

事業の効果についての評価・考察

- ・性教育は学校側でも大切だと感じているが、やりづらい部分でもあり、外部講師が専門家の立場で授業を行ってもらうと生徒も真剣に考える機会になった。
- ・自分が生まれたことの奇跡、望まれて生まれてきたことを伝えることで、自分を大切に、他人も大切にすることを学ぶことができた。
- ・携帯電話・インターネットの普及により、間違った性情報が氾濫する時代に生きる中学生に、専門家から授業を受けることで正しい知識を得、正しい情報を選択する力をつける。

今後の課題

- ・1回110分の授業では足りない部分もあり、学校側と協力して事前学習の検討も必要である。
- ・時代や今の中学生の現状に合わせてプログラムを再検討していく必要がある。

ホームページ	http://www.city.okaya.lg.jp/okayaspyher/www/normal_top.jsp
照会先	岡谷市役所 健康推進課 保健指導担当 0266-23-4811

事業評価	(自己評価)	
①活動内容	4	市独自の取り組みであり、学校側からも好評を得ている。
②独創性	4	経験のある助産師が講師である。
③普遍性	3	教育部門との連携が図れれば、他市町村でも実施可能。
④将来性	4	時代や現状に合わせてプログラムを再検討していく必要がある。
⑤効果度	4	専門家から授業を受けることにより、正しい知識の普及が図られている。
⑥信頼度	5	助産師からの専門的な授業が行われている。

